



Closure report 2022

終了報告書

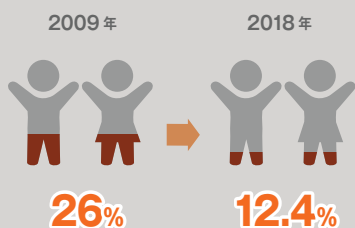
ベトナム社会主義共和国
 チャンエン地域開発プログラム
 VNM-190848 (2007年～2022年)



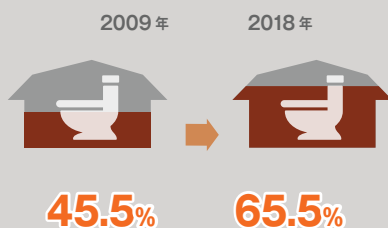
ありがとうございました

皆さまのご支援により、人々が変わり、地域が変わりました

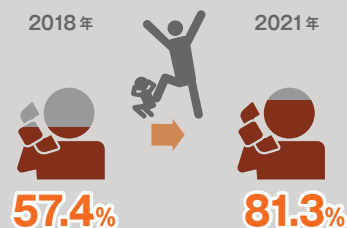
低体重の子ども



衛生的なトイレを持つ世帯



「子どもへの暴力を目撃したら通報する」と答えた地域の大人



Education



教育

子どもたちが
自発的に学べる環境が
整えられています

以前は、教育施設の設備が不十分で、トイレや水道などの衛生設備をはじめ、園庭やおもちゃ、教材など不足しているものがたくさんありました。就学前教育の現場では十分な知識を持つ教員が少なく、また小中学校では子どもの自主性を育む教育方法が実践できていませんでした。こうした状況をふまえ、子どもたちがより安全に学べる学習環境を整備するために学校の修繕をしたほか、設備や必要な備品を支援しました。適切な就学前教育により、多くの子どもたちが学校生活に必要なスキルを身に付け、その後の就学・学習状況が向上しています。また子どもたちが積極的・自発的に学習することを目指す、子ども中心の教育方法を教員が学び、日々の授業に取り入れることで教育の質を改善することができました。



支援前
古く、衛生的でない幼稚園の給食用備品置き場



支援後
食器や調理器具などを衛生的に管理できるようになりました



Livelihood



生計向上

農業の技術支援によって、
収入が向上しました

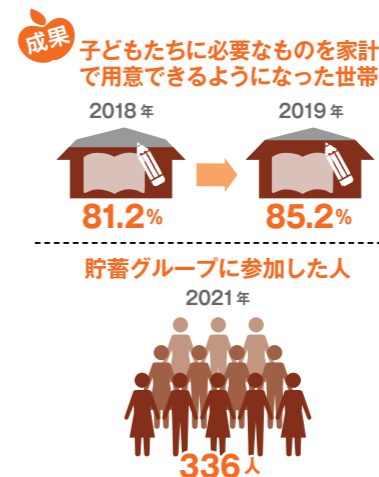
地域住民のほとんどが農業に従事していますが、昔ながらの農法に頼っていたため収穫高が低く、収入も不安定でした。そこで、品種改良や技術指導により収穫高を増やし、市場で販売するための研修を実施して収入の向上を目指しました。葉草や果物など、市場でよく売れる作物の生産をすすめ、さらに農業のみに依存しないよう、他の収入源として家畜の飼育を支援しました。また、家計管理の研修や貯蓄グループの設置を通じて、必要なときに地域で資金を融通できる仕組みを導入しました。新型コロナウイルス感染拡大以降、多くの世帯が貯蓄グループから融資を受けることで、影響を最小限にすることができています。これらの活動は地域政府と連携のもと、今後も継続していきます。



支援前
支援当初の農地の様子



支援後
新しい農法により、米の収穫高が増加しました



Health



保健衛生

地域全体の行動変容に
つながっています

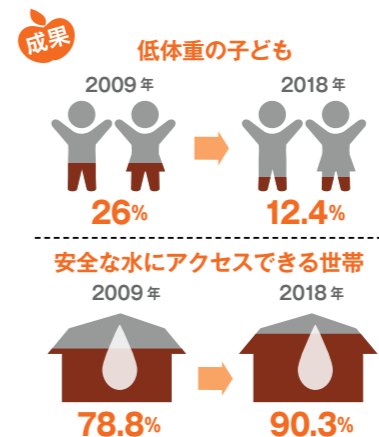
この地域では、5歳未満児の栄養不良の割合が郡の平均より高く、安全でない水を原因とする感染症の流行も頻発していました。また保健スタッフの知識・技術不足によって、保健サービスも十分ではありませんでした。しかし栄養クラブでの活動や、保健ボランティアと幼稚園教員を対象にした、乳幼児のための食事指導などを行った結果、子どもたちの栄養状態を改善することができました。学校では、安全な水を利用できるようにするために水衛生施設を整備したほか、研修を受けた教員が衛生に関する啓発教育を実践しました。生徒たちは学んだ知識を家族や他の子どもたちに伝え、それが地域全体の行動変容につながっています。



支援前
ごみなどが散乱する水路。汚染された水は、感染症や下痢の原因に



支援後
手洗いの大切さを習得し、幼稚園に設置された水道を使って、安全な水で手を洗う子どもたち



Child Protection



子どもの保護

地域全体で子どもを守り
育てる活動を進めています

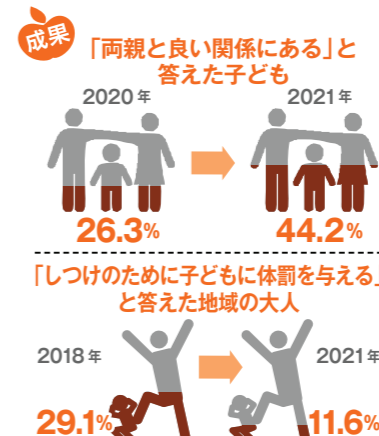
この地域では、子どもの保護や権利についての認識が低く、暴力の予防や通報に関する制度も整っていませんでした。また、山間部には子どもが安全に遊べる場所が少なく、事故や怪我が頻発していたことも課題でした。そこで支援を通して、子ども用の運動場を整備したほか、子どもたちが様々な危険から身を守る方法を学ぶ研修を実施しました。また保護者にも、体罰・暴力が子どもに与える悪影響などを伝えました。こうした取り組みの結果、今では子どもを守り育てるための活動計画を人々が主体的に策定し、実施することができています。計画には子どもたち自身の意見も反映し、今後も地域政府と連携しながら活動を継続していきます。



支援後
家族で子どもの保護について話し合う活動の様子



支援後
子どもに対する暴力の撤廃について発表する男子



マネージャーよりごあいさつ



チャンエン地域
開発プログラム
マネージャー
リアン・ホアン・フオン

長きにわたって温かいご支援をいただき、誠にありがとうございました。プログラムを開始した2007年当時、この地域では農業や畜産の生産性が低く、また子どもたちは自分を守る術を知りませんでした。スポンサーの皆さまのご支援により、インフラや公共サービスが整備され、人々は生計グループでの研修を通じて農畜産業の技術や知識を学ぶことができました。こうした取り組みは貧困率の低下につながり、子どもを含めた地域全体に良い変化をもたらしています。いま、子どもたちは家族や地域社会から守られ、大切にされています。こうした子どもが他の地域でも増えるよう、今後ご支援を継続いただければ幸いです。

地域代表者からのごあいさつ



児童保護委員会リーダー
ヒエン・フン・ティエン氏

以前この地域では、子どもの保護に関する活動があまり行われていませんでした。しかし皆さまのご支援によって、今では全ての子どもに適切なケアを届けるための体制ができています。その体制のおかげで困難な状況にあって、学校生活を続けることが難しかった子どもたちに、授業料や給食費の支援、家庭訪問を通じたさまざまなサポートを届けることができました。こうした素晴らしい取り組みができたのは、これまで私たちを支えてくださったスポンサーの皆さまの、尊いご支援のおかげです。これからも私たちは、子どもたちの安全と人々の暮らしを守るための活動を続けていきます。地域を代表して、改めてスポンサーの皆さまにお礼を申し上げます。

皆さまとともに歩んだ 15 年間の支援と成果

準備期
2008 年度
▼
2009 年度

- ◎ 支援対象地域の状況やニーズの調査
- ◎ 地方自治体および地域住民と共に、調査結果に基づくプロジェクト実施計画の立案
- ◎ 支援計画を遂行するためのプロジェクト委員会設立、月例会議の実施



壊れた幼稚園の水タンク



地域の世帯にある、不衛生なトイレ

第1期
2009 年度
▼
2015 年度

- ◎ 幼稚園に必要な設備（おもちゃ、教材、遊び場、フェンスなど）を支援
- ◎ 幼稚園の教師を対象に、子どものケアに関する知識（栄養、衛生、怪我防止）についての研修を実施
- ◎ 5歳未満児の栄養状態をモニタリングするシステムの構築
- ◎ 学校やコミュニティでのトイレや井戸の設置
- ◎ 小規模ビジネスのための貯蓄・融資グループの設置
- ◎ 家畜飼育や養殖に関する技術研修、灌がい設備の管理システムの開発
- ◎ 地域の指導者・住民 12名とともに、防災計画の策定と訓練の実施



栄養クラブで栄養価の高い食事について学んだ親子



地域の世帯に衛生的なトイレが建設されました

第2期
2015 年度
▼
2018 年度

- ◎ 保健所で使用する体重計・椅子・机などの支援と、保健ボランティアスタッフのための健康診断ツールの支援
- ◎ 栄養のある野菜を育てるため、家庭菜園に必要な資材（種・肥料・園芸用具）などの提供
- ◎ 学校の教室の整備や机・椅子・教材の提供など、学習に必要な環境づくり
- ◎ 最も弱い立場にある子どもたちを対象に、教科書・ノート・ペン・制服などの支援
- ◎ 災害リスクの軽減や気候変動への適応に関する研修
- ◎ 灌がい設備の改善、用水路の整備
- ◎ 農作物、家畜などの販売支援（市場とのつながり強化、農家組合の設置と運営支援）



支援されたニワトリに餌やりをする様子



灌がいの用水路建設に参加する地元住民

第3期
2018 年度
▼
2022 年度

- ◎ 家庭やコミュニティに向けた、子どもの保護やけがの防止に関する研修
- ◎ 保護を必要とする子どもたちに、特別な支援を提供
- ◎ 農業グループ、貯蓄グループなどの設置・運営を通じた生計向上支援
- ◎ 貧困層の農家で子どもを育てる世帯を対象に、家畜や農業用資材の提供と、生産高をあげるための技術支援
- ◎ 村落開発委員会を立ち上げ、各プロジェクトにおける資源動員や子どもの幸福度のモニタリングに関する研修を実施
- ◎ 新型コロナウイルス感染症予防のため、各家庭にせっけん、布マスク、体温計を配布



ワールド・ビジョンが支援した豚の世話をしている親子



整備された学校の遊具で遊ぶ子どもたち

支援を受けたチャイルドのストーリー

ワールド・ビジョンに出会って、
夢に向かって歩き出すことができました！

アインさん
(21歳)

農業を営む両親と暮らしていたアインさん。14歳のときに父親をエイズで亡くし、その後間もなく母親もHIVに感染していることが判明しました。病気に対する周囲からの差別と、将来への不安に直面したアインさんは、絶望的な日々を送っていたといいます。

そんな生活が大きく変わったのは、ワールド・ビジョンのスタッフが家を訪ねてきたことがきっかけでした。「さまざまな支援や精神的サポートを受けました。またHIVについて説明会を開催してくれたおかげで、この病気のことを村の人たちが理解してくれるようになったんです」。人生に希望を見出したアインさんは今、保育士になるという夢をかなえるために勉強に励み、さらにその合間を縫って、自分と同じような境遇の子どもたちが夢と自信を持って生きていけるようにと、月に一度、ワールド・ビジョンのスタッフとともに支援活動に携わっています。

また、彼女の母親も生計グループに参加し、生産性を高めるための米作りの技術や養鶏に関する研修を受けました。今では育てたニワトリを売って、安定した収入を得ることができています。

「長い間支えてくださったスポンサーの皆さまに、心から感謝しています。夢をかなえるため、そして母とのより良い将来のために、これからも頑張っていきます」

